

『一生懸命』幻の新座市議会報告第65弾!



2011年 2月 28日発行

☹️ TPPの罠

誰がTPPを要求しているか。そこが問題です。自由化という言葉は聞こえがいいですが、日本の全ての産業を荒波に放り出すのと同じです。特に後継者不足の日本の農業は壊滅的な打撃を受けるでしょう。一度破壊された農業はなかなか元には戻りません。食糧が高騰し続けている今、これから日本の自給率が更に下がり、防衛、エネルギーどころか食料までも他国に完全に頼らざるを得なくなったら・・・その先は見えています。お金で買えるのは一部の人だけでは話になりません。何でも自己責任と国民には言いながら、日本のトップは責任のせの字も取らない。TPPがもたらす危険を僕らは真剣に考えなくてはならないのです。

☹️ 第3の開国

菅直人はさかんに「第3の開国」という言葉を使います。誰のために開国しようとしているのかが問題です。誰が圧力をかけて、開国(貿易の自由化)を要求しているかが問題なのです。あの「郵政民営化」も「耐震偽装の元凶」となった「建築基準法改正」も大量の非正規雇用労働者を生み出した「労働者派遣法改正」も、全てアメリカの圧力です。それに乗っかり、大もうけするのは大企業で、中小零細はバタバタと倒れている。それが今の日本です。菅直人は第1の開国は明治維新、第2の開国は戦後、そして今回のTPPが第3の開国だといふのだから狂っています。仮に「第3の開国」だとしても、嘘だらけの民主党には任せられません。日本の運命を決定するようなことをマニフェストの字も守れない政党に任せていい訳がありません。国民の政治不信は強く、地方議会に対する市民の目も厳しいです。無所属だと思って投票したら、完全市長与党だった。議会報告を1枚も出さない。休日議会に行っても、寝ていた!」選挙の時だけ頑張っている」という声もあちこちから聞きます。一人会派でも頑張らねば!!



教え子(六中)の華ちゃんの結婚式でお兄ちゃん(横ちゃん)と二人で歌いました。みんな泣きました。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。教育を語らせたら、止まらない男」です。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。大学3年の時、突然教師になる決意をする。7年から教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。04年初当選。どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。「黒目川川づくし懇談会」代表。新座五中・六中の男女硬式テニス部を率いて、県大会は50回以上、関東大会5回、全国大会2回優勝。学級通信「一生懸命」を20年間発行し続ける。NHKの「おはよう広場」、最近では「インターネットテレビ」に出演。議員日記は6年と11ヶ月毎日更新。アクセスは14万2千回を超える。小中高生と先生・保護者の生の声を聞きながら、日々教育を考え「観光新座ではなく、教育新座」を訴えている。ご感想・ご意見をお待ちしています。たかやん



たかやんの応援団 で 検索



たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 二元代表制

地方自治体では、首長と議会議員をともに住民が直接選挙で選ぶ、という制度をとっています。これを二元代表制と言います。これに対して国では、選挙された議員で組織された国会が指名する内閣総理大臣が内閣を組織し、国会に対して責任を負う、という議院内閣制です。全然仕組みが違うのです。要するに、我々地方議会には市長与党なるものは存在してはいけません。市長も議員も全員、市民から直接選ばれているのです。新座市のように、市長が提出する「市長提出議案」には黙って、100%賛成する議員ばかりじゃあ、二元代表制での議会（議員）の存在価値は0になります。だって、そうでしょう。市長が決めたこと全てに賛成するんですから・・・黙って賛成するだけなら、誰にだってできます。そういう議員を選んだのも市民のみなさんですから、責任は議員だけにあるものではありませんが・・・。議会ではぐっすり眠り、議会報告も書かず（眠っていたら書けない）、駅にも立たず（議会報告がないから立っても配るものがない）、選挙前になると「お願い」をする。どうか、そういう議員だけは選ばないでください。

③ 議員年金

たまにはいいお知らせも、この6月から我々の議員年金制度が廃止になる予定です。議員特権の一つである議員年金制度。3期＝12年務め上げれば年金が貰えるという議員年金制度が無くなるのですから、めでたし、めでたしです。国会議員だろうが、県会議員だろうが、公務員だろうが、教師だろうが、特別に年金で優遇されるのはおかしい。僕はそう思っています。ただ、議員報酬が下がり、議員年金がなくなり、議員の待遇が悪くなれば、それなりに優秀な人は議員にはならないだろうなあ、とも思います。実は教員時代より遙かに年収が減りました。それでも、あの時代より自由になる時間が増え（家族と一緒にいられる）、新しい縁（ボランティア、駅立ちでの出会い等）も増えたので、仕事は楽しいです。「学級通信」に燃えていた僕が、「議員日記」や「議会報告」を続けていられるのも、今の仕事がやりがいのある仕事だからだと思います。

③ 笑顔



この写真は今から34年前の五中の1年3組の写真です。ど真ん中で髪の毛フサフサなのが私。そして、僕の周りには沢山の笑顔がいつもありました。この子達が初めて担任する1年生だったので、僕は可愛くて可愛くてしょうがありませんでした。中学生と言っても、1年生は小学生のようなものです。兎に角、毎日笑ってばかりいたのを覚えています。色々事件はあったのですが、楽しかった記憶しかありません。そして、この子達が卒業する日は泣きました。最後の学活は泣きながら2時間以上やったのですから、別れの辛さは大変なものでした。僕はこの子達から「学校というところは、笑顔で出会って、そして涙で別れるところだ」ということを学んだのです。僕のクラスだけでも東大、京大、外語大、鹿児島大と国立大学に4人も進学しました。勉強は県内でトップで運動部も強かったし、喧嘩も強かった？五中にもそういう時代があったのです。僕ら教師達が何をやるにも生徒と一緒に汗を流していた頃のお話です。僕が目指す「教育新座」はこの子達の笑顔が元になっています。

③ 川掃除

毎月第一日曜日に行っている黒目川の川掃除ですが、同じように毎月一日に川の周囲を掃除をしているボランティアグループがあることがわかりました。そこで第1週以外で流動的に行うことにしました。8月の第一日曜日の川遊びは例年通りですが、それ以外の月は第2週か3週あるいは4週でと思っていますので、よろしくお願いします。たかやん